

2023.06.09

第 54 回北海道高等学校世界史研究大会実施要項

1. 全体テーマ 歴史総合と探究科目をどうつなぐか

2. 目的

- 古代史を学ぶ意義を再確認したうえで、歴史総合と探究科目で求められている力について考察し、授業改善の方向性について意見を交換していく。
- 北海道内のみならず全国の歴史教育関係者と意見を交換することで、これからの時代に求められる歴史教育像を明らかにしていく。

3. 日時 令和 5 年度 8 月 4 日（金） 9:30～16:30

4. 会場 北海道科学大学高校 Links ホール （札幌市手稲区前田 7 条 15 丁目 4-2）

*対面とオンラインのハイブリッドで開催します。

5. 後援 高大連携歴史教育研究会・北海道教育委員会・札幌市教育委員会・
北海道高等学校長協会（いずれも予定）

6. 参加費 対面：2000 円 オンライン：1000 円

*決済はオンライン決済で行います。お申し込みいただきましたら、決済方法をメールにて連絡させていただきます。

7. 次第（予定）

9:00 ～ 9:30 受付

9:30 ～ 9:45 総会 （北海道のみ）

9:45 ～ 10:00 開会式

10:00 ～ 12:30 講演

講演：河上 麻由子 大阪大学准教授

「東アジア古代史の中の日本～国風文化を東アジアの歴史にどう位置付けるか」

コメント：吉田拓矢 北海道大学講師

13:30 ～ 14:45 研究発表

• 日本史の入試変遷から見る歴史総合と日本史探究の授業 千葉 康平（広尾）

• 世界史の入試変遷から見る歴史総合と世界史探究の授業 酒井 佑輔（札幌旭丘）

15:00 ～ 16:30 研究協議・閉会式

8. お申し込み

<https://forms.gle/QD1mccdf449TbrwTA> または下記 QR コードによりお申し込みください。研究大会への申し込みは 7 月 23 日（日）17:00 までとさせていただきます。



9. 懇親会について

状況が許す限り、研究会終了後に任意参加の懇親会を行います。お申し込み時に、参加希望についてお答えください。研究会当日、会場でも受け付けいたします。

10. 講演 講師 河上 麻由子（大阪大学准教授）

日本古代史や東アジア史を学び、仏教の視点から古代の日中外交をとらえ直すなど、東アジアにおける日本古代史の位置づけを研究。東アジアにおける国風文化の意義などについても知見が深い。『古代アジア世界の対外交渉と仏教』（山川出版社）、『古代日中関係史-倭の五王から遣唐使以降まで』（中公新書）などの著作がある。第 33 回濱田青陵賞を最年少で受賞。北海道大学文学部出身。

11. その他

- お申込みいただいた方には、7 月 24 日（月）中にお支払い方法等のメールをさせていただきます。お支払いを確認後 8 月 2 日（水）までにログイン ID と資料を送信させていただきます。もし期日までに、送信されなかった場合には、お手数ですがご連絡ください。
- 連絡は gmail で行いますので、フィルタリングの解除などの対応をお願いします。
- ご不明な点等ございましたら、下記アドレスへメールにてお問い合わせください。

世界史研究会メールアドレス [sekaishiken\(a\)gmail.com](mailto:sekaishiken(a)gmail.com)

* (a) を @ へ代えて下さい

事務局長 本間 靖章（北海道札幌南高等学校）